

# 佐倉市民オンブズマン議会情報

目次

1頁 副市長辞任の問題点  
市庁舎耐震診断結果

2頁 職員退職金・市長の所得  
ユニバーサル農業  
佐倉のメガソーラー  
社協の会議の公開

3頁 6月議会一般質問

4頁 6月議会概要  
一般質問の時間制限  
佐倉市緑の基金

2012年7月25日 発行：(会派)佐倉市民オンブズマン TEL & FAX043-485-5999

## 佐倉市副市長辞任の問題点

### 「副市長は辞めさせられたのか？」

5月3日に朝日新聞、5日に千葉日報に鎌田副市長の突然の辞任が報じられた。

佐倉市長は産業の活性化、都市基盤整備などを目的に副市長2人制を12月議会に提案。賛成多数で可決され、7月には国交省から2人目の副市長が佐倉市へ派遣されるこ

ととなっていた。

そんな中、任期を3年残しての突然の辞任は市内に大きな驚きを与えた。

退任の理由は「一身上の都合」のみ。報道以降、色々な「噂」が飛んだ。

「辞任させられたのだ」「市長の市政運営(箱モノ建設等)について副市長が反対したので邪魔になつた」等、あくまでも「噂」だが。

この後は、5月22日の

臨時議会の全員協議会で市長より簡単な経過説明があつただけ。同臨時議

会では、鎌田副市長から型どおりの退任の挨拶があり、5月31日付で退任。

市長は、7月に国交省から副市長が来るまで、副市長不在で行政に一生懸命に携わるとして理解を求めた。その後も副市長2人制について実現させる旨主張し続けている。

副市長不在の6月議会でも、3名の議員から質問があつたが要領を得ない答弁に終始した。

その後、次の様な事が明らかになつている。

3月30日に、市長名で発令された訓令第8号と言うものがある。これで、「企画政策部、産業振興部、土木部、都市部及び資産管理経営室に係る起案については副市長の審査を省略する」としている。これは鎌田副市長を

とである。

ある市民が鎌田副市長と市役所で会つた時「辞めさせられたんですよ」と告げられた。

ある議員が別件で副市長の部屋にいたところ、

突然市長が部屋に入つてきて、「議員を呼んで色々な事を吹き込んでいるんだらう！」と怒鳴り散らしたとのこと。

市長の箱モノ建設に副市長が反対したので邪魔になつた。(どうもこのあたりが真実の様な気がする)

もし鎌田副市長の存在が市民に不利益もたらすとの考えで辞めてもらつたならば、市長はその様に市民に説明して理解を

求めるべきである。

もし、市長が辞めさせたのなら、「慰留に努めたが鎌田氏個人の「一身上の都合」(市長答弁)は市民に嘘を言い続けているという事になり、これは厳しく糾弾されることになるだろう。

ここにはまだ書ききれない「噂」「伝聞」もたくさんあるが「噂」の中に真実が隠されていることもある。火の無い所に煙は立たぬ・・・である。

佐倉市役所本庁舎から社会福祉センターまでの11棟の耐震診断結果が行われた。結果は、本庁舎(1971年建設)を含めた5棟が強度不足の判定であつた。耐震診断は、「Is値」(耐震指標)で判定され、0.6以上が合格となる。

### 佐倉市本庁舎他耐震診断結果

Is値(Seismic Index of Structure:耐震指標)

佐倉市本庁舎耐震判定(Is=0.6以上がOK)			
階数	長辺方向Is	短辺方向Is	判定
6階	1.1	1.12	OK
5階	0.76	0.95	OK
4階	0.54	0.52	NG
3階	0.51	0.41	NG
2階	0.49	0.39	NG
1階	0.46	0.46	NG
地階	壁量十分であり、問題なし		OK

電算室、3号館増築棟4号館、社会福祉センターは6月議会に補強工事予算が可決され、今後、工事が行われる。問題は本庁舎であり、補強案としては、耐震壁にせん断力向上の補強を行う。床断面の耐力向上の補強を行う。床と荷重支持部との接続部に補強を行う等である。

佐倉市では、本庁舎の今後の対策について検討し、その後公表するとつづけている。なお、耐震判定書、耐震報告書は市役所の市政資料室で見ることが出来る。また、耐震診断の受託者は(株)黒川紀章建築都市設計事務所。



耐震診断作業

7月1日から大飯原発3号機が再稼働されたが、国民の反発は強い。6月29日の首相官邸前の抗議行動には、主催者発表で20万人との報道であつた(左の写真参照)。国政でも、原発再稼働反対、消費税増税反対が焦点となつている。これらの問題は、直接に地方自治体の住民にも関係してくる。



6月29日 首相官邸前の原発再稼働抗議

### オンブズマンとは

本来は、直訴人の仲介役です。「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」であり、市民の味方になります。市民オンブズマンは各種の御相談に応じます。是非、下記連絡先にご相談ください。

# 佐倉市は今!

今年度、県(国)の補助による「ユニバーサル農業推進モデル事業」が佐倉市で行われることになった。ユニバーサル農業とは、障害者の就労、社会参加の両立を兼ねた農業であり、大いに期待される分野である。

今回の事業は、障害者事業所と農業のコーディネーション調整業務が主である。このコーディネーション業務の旅費、会場費、広報費、コーディネーション人件費等に対して430万円の予算が組まれる。実際には、障害者事業所と

## 佐倉で始まるユニバーサル農業

今年度の事業は、内閣府の交付金事業であり、「新しい公共支援事業」として、計87億円がH23、24年度に予算化されている。この事業に対して、千葉県には2.5億円の予算が配分され、県は各市町村に応募を呼びかけた。

佐倉市からは、これに対し、ユニバーサル農業として応募し、県からの交付予算を獲得できた。今回の事業に応募したのは、「生活クラブ」と「佐倉市」の協力であり、協力してユニバーサル農業のコーディネーションに取り組むことになる。

本事業の、佐倉市の430万円の予算は、前述のコーディネーション業務にあてられる。広報は、「こうほう佐倉」や佐倉市のホームページも活用すべきであるが、未だそれらは行われていない。円卓会議も行われているが、その会議の広報もこれからであり、傍聴はまだ呼びかけていない。野菜等は、毎週100程度の野菜セット(1セット千円前後)

をエコバッグに詰めて販売する計画である。事業を拡大するには、野菜の提供者と野菜の利用者の増加が望まれる。本事業で障害者が働くのは、野菜の袋詰めであり、その他の農作業は入っていない。「ユニバーサル農業」はまだこれからであり、多くの方々の理解と援助が求められる。

光は誰のものが話題になる。自然エネルギーは皆のものである。市民が投資する市民発電所も期待される。

発行：(会派)佐倉市民オンブズマン2012年7月25日 連絡先〒285-0011 千葉県佐倉市山崎315-6 電話&FAX 043-485-5999

退職金と総合事務組合 この3月に人事院は職域加算を含めた国家公務員の平均退職金は約2950万円になり、民間企業の約2547万円に比べ403万円高いと公表。7月には、約400万円を引き下げる有識者会議提言も出た。

## 高すぎる職員退職金と市長の所得

佐倉市職員は、H23年度末時点の定年退職手当支給額の平均が約2758万円である。職域加算は年金支給であり、佐倉市としては算出していない」との答弁であった。

民間の企業年金にあたると言われる職域加算が公務員には全員に支給される。しかし、企業年金は恵まれた企業にしかない。佐倉市でも平均定年退職手当2758万円に年金として上乗せされる。推定職域加算分は、2.3万円/月×12ヶ月×20年(余命)とすると550万円ほど上乗せになる計算だ。

所得が、2352万円と高額である(一昨年は2385万円)。これは、市長職、一部事務組合管理者、年金、事業等の所得合計である。厚生年金が減額とならない(厚生年金受給者が、市長や議員などの公務員になっても、厚生年金の減額措置はない)、地域手当加算、期末手当の役職加算などの優遇措置の結果でもある。財政難でも、市長への優遇策は手つかずである。

子どもたちに佐倉の美味しい水道水を沢山飲んで欲しいと思う。現在、市内小中学校の各蛇口へは、受水槽に溜められた水道水が配水されている。受水槽には、鳥や小動物の死骸が沈む事もある。

子どもたちに佐倉の美味しい水道水を... 直結化による周辺の水圧低下、避難所としての水確保の為に受水槽が必ず必要で、市は水道の直結化は考えていないというが、工夫も必要である。現に東京都、横浜市、県内市原市などで直結化を実現しているケースが増えており、子どもたちからの評判も上々である。

発行：(会派)佐倉市民オンブズマン2012年7月25日 連絡先〒285-0011 千葉県佐倉市山崎315-6 電話&FAX 043-485-5999

## 佐倉市内でメガソーラー稼働へ!



完成予想図

NTTの子会社NTTフアシリティーズが、江原新田の土地約4畝(NTT東日本所有)に発電能力約2kwのメガソーラー(大規模太陽光発電所・一般世帯600軒分)を建設する。7月以降の稼働になるが、広大な土地がメガソーラーに適しており、7月から始まった再生可能エネルギーの「固定価格買い取り制度」を活用する。

## 社協の会議の公開が動き出す

社会福祉協議会(社協)への、会議の公開を求める市民からの質問状(前号参照)に回答が来ましたので、お知らせします。

- 1. 市社協「情報公開規程」(会議の公開)の条文を記載する。(注「市条例第28条(会議の公開)では、公開する」とあります。)
- 2. 市社協の「会議の公開に関する要綱」第2条(公開する会議)「次の委員会」とあります。この記述のままでは、「閉

発行：(会派)佐倉市民オンブズマン2012年7月25日 連絡先〒285-0011 千葉県佐倉市山崎315-6 電話&FAX 043-485-5999

# 佐倉市民オンブズマン 市議会での一般質問

H24年6月11日



かみのやまひろお(佐倉市議会議員)

## 上ノ山博夫

090・1409・5387  
MAIL iawah 1194.iki.kiaw@docomo.ne.jp

### 副市長の選任について

昨年11月議会で可決された「副市長2人制」に伴う新副市長の選任が今議会で提案された。

新副市長に企業誘致等産業振興、都市基盤整備を、鎌田副市長にはコンプライアンスや条例制定等を担当してもらおうというのが市長の思惑であった。

しかし、これは鎌田副市長の突然の辞任により不明確に。この辞任にも相当な疑問が残されている(1頁参照)。

### 新副市長の選任に反対

約1400万円の支出) しかも国交省からの役人を迎えるのは地域主権、住民自治のこの時代に逆行するもの。

多くの自治体で狙っている企業誘致にしても実際は厳しい現状であり、希望どおりいくかも甚だ疑問である。このように市民の暮らしの安定、安心よりも開発優先になる懸念が拭えず、市民の願いや声がどれだけ活かされるのか疑問であり新副市長に反対をした。

なお、副市長一人目のとして国交省・浦田啓充(うらたひろみつ)氏の選任は本会議で可決された。

### 出資等団体の情報公開は不十分

私たち市民の税金が出資金、補助金の形で支出されている主な団体(出資金は佐倉国際

交流基金、佐倉緑の基金。補助金は社会福祉協議会(社協)、佐倉商工会議所、観光協会等)の情報は公開されてしかるべきである。文書の公開についてはそれぞれの情報公開

規程により規定されているものもあれば情報公開規程さえ無いものもある。そして会議等の公開については、社協を除けばいずれも規程は無い。

社協ではようやく会議の公開を情報公開規程に定めた(2頁参照)。しかし、社協では、最高の意思決定機関である評議員会が未だ公開ではない。早急な公開が必要である。

佐倉市の情報公開条例では審議会等の会議は原則公開とされ、出資等団体も同様にすべきとされており、市にはその指導が規定されている。

しかし、情報公開に関する努力義務を市が課すのは、指定した団体(現在は佐倉国際交流基金、社会福祉協議会)のみである。しかも、市は各団体の自主性、自立性を尊重したとの意向である。

税金が支出されている限りはその団体の情報は会議の公開も含め市民に公開されるべきであり、市は指導的役割を十分に果たさなければならぬ。

### 7種類ものごみ袋を市民に買わせるごみ行政は一刻も早く改正し、真の循環型社会を!

近隣の市では、可燃ごみと不燃ごみの2種類の袋がせいぜいだ。

他市では、びんやカンは繰り返し使えるコンテナなど、紙容器やプラスチック容器は同じ素材の家庭にある袋で代せる。レジ袋に替えてマ

イバックを使ったり、過剰な包装を省くのが同じ事だ。何でも指定ごみ袋で出させるのは、ごみを増やし、資源を浪費し、CO2を出す

ことになり資源循環型社会を作ることにならない。

びんは色別に分けなければリサイクルできない。そのため、酒々井リサイクルセンターで業者が手選別しているが、搬送中に割れたびんの欠片は指定袋とともに焼却炉に投入し、埋め立て処分となる。これでは市民に分別やりサイクルを訴えることと矛盾する。

年間1100万枚以上のごみ袋が売られている(粗大ごみ雑芥類袋含まず)。全て使い捨てで焼却され、

金額にすれば、約1億5千万円にもなり、市民の財布から消えていく。無論、これにはごみ処理代は一切含まれず、ごみ袋の金額だけである。これが地元消費に廻れば地域経済に少なからず寄与する。もったいない話だ。

一方、袋の単価も他市に比べ割高だ。理由は国産に限定との認定基準があるからだ。国産に限定せず、業者が参入し易くして、市民の選択に任せるべきだ。

少なくとも、リサイクル資源の指定袋の使用は改めていくのが真の資源循環型社会への道だ。

ところで、小人数家庭では特に、家庭に長く置かれて、ビン、カンの袋は邪魔になっっている場合が多い。コンテナなら一本、1個のビン、カンでも出せるが、現状のごみ袋では出せない。他人のごみ袋に入れるのは、袋を開けるとプライバシーの問題もある。しかし、自分のゴミ袋に余裕がある時は、追加で入れてもOKと

タイプなどで目印をして、他の人に「ゴミ袋スペース」提供はどうでしょう。

### ゴミ袋年間1.5億円を焼却

金額にすれば、約1億5千万円にもなり、市民の財布から消えていく。無論、これにはごみ処理代は一切含まれず、ごみ袋の金額だけである。これが地元消費に廻れば地域経済に少なからず寄与する。もったいない話だ。

### 日本的画一教育である佐倉学から社会参加の教育へ

オランダの子どもの幸福度世界一の理由は学校教育にあると思う。

その特色は個性の重視と社会性の尊重です。

具体的には子どもの自発的な好奇心や探究心を大切に、それぞれの個性や能力の成長を助ける教育である。もう一つは子どもの身の周りの目に見え、手の届く環境の中から自然や社会など外界との関係を学び、社会性を身に付けていくこと

です。

### 子どもの幸福度世界一のオランダの教育

これは、「総合的な学習」の狙いでもあり、自ら課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること

学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て自己の在り方、生き方を考えることができると

共通する。

歴史教育で言えば「覚える歴史ではなく考える歴史」と、知識を鵜呑みにするのではなく、過去の出来事を持つ意味や現代との関係性を考え、「なぜ」という問いや批判的精神も大切である。

グロバル社会の現代には、佐倉学のような日本的画一教育ではなく、問題解決型つまり対話と協力により問題を解決する取組みが必要だ。これは、異年齢を含めた学びあい、グループでの対話型学習、保護者の参加などによる社会参加の教育です。社会を皆で作っていくという社会参加の教育への取り組みは、佐倉市で行われているか?

教育長は「佐倉学は子どもたちが佐倉を担っていくとの観点で佐倉の歴史、自然、文化、先覚者の生き方を学び、自身の将来の生き方を考えていくため取り入れている」と答弁した。

オランダの教育は「国際社会の一員として世界市民を育てる」ことを目指している。つまり、社会を皆で作っていくという社会参加の教育への取り組みがこれからは求められている。イベントや風習だけでなく、現代オランダの教育の進んだ面も取り入れるべきだ。



H24年6月14日

## 和田恵子

043・486・9398  
wadakei.kosakura@gmail.com  
http://keikowada.exblog.jp

6月定例会概要

市長提出議案は平成24年度一般会計補正予算(増額は本庁舎の保全事業、住宅用太陽光発電設備導入促進事業、小学校施設改築・改修事業等)、東日本大震災復興基金条例制定、佐倉市さくらんぼ園の設置・管理に関する条例一部改正、副市長の選任など16件。その他請願2件(採択2)、陳情3件(全て不採択)。議員提出議案は8件(可決2件)で、原発再稼働反対に関する2意見書は否決された。

今議会の議案から

H24年度 一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ2億5千万円増額補正。補正後の予算額は42.5億8491万円となる。市役所本庁舎の一部が耐震性に欠ける為の耐震補強等に係る経費、下志津小の耐震対策、志津公民館の基本設計等に係る経費、千葉敬愛学園が設立する認可保育園への一部助成、等市民生活に密着した緊急の支出が多く提案され、全員賛成で可決された。

891万円の増額補正。補正後の予算額は42.5億8491万円となる。市役所本庁舎の一部が耐震性に欠ける為の耐震補強等に係る経費、下志津小の耐震対策、志津公民館の基本設計等に係る経費、千葉敬愛学園が設立する認可保育園への一部助成、等市民生活に密着した緊急の支出が多く提案され、全員賛成で可決された。

子育て支援の陳情 充実を求める陳情 子育て支援は自治体が担う大きな役割の一つ。公立・民間保育園が共に競い合っ

保育の質を高めることが重要である。財政難の為の安易な公立保育園の民営化は自治体の責任放棄でありこの陳情には賛成とした。

子育て支援の陳情 充実を求める陳情 子育て支援は自治体が担う大きな役割の一つ。公立・民間保育園が共に競い合っ

保育の質を高めることが重要である。財政難の為の安易な公立保育園の民営化は自治体の責任放棄でありこの陳情には賛成とした。

子育て支援の陳情 充実を求める陳情 子育て支援は自治体が担う大きな役割の一つ。公立・民間保育園が共に競い合っ

保育の質を高めることが重要である。財政難の為の安易な公立保育園の民営化は自治体の責任放棄でありこの陳情には賛成とした。



「副市長の選任について」 市長が進めている副市長(市民オンブズマン提出)の選任について

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

Table with 2 columns: 賛成, 賛成少数, 反対, 欠席. Rows include 6月議会賛否一覧表, 主な議案, 佐倉市道路線の認定について, 副市長の選任について, 子育て支援の充実を求める陳情, 防災ニューディールによる社会基盤再構築, 原発の再稼働をさせない意見書

Table with 2 columns: 会派, 人数. Rows include さくら会 (12), 公明党 (5), 佐倉市民ネットワーク (3), 佐倉市民オンブズマン (2), みんなの党 (2), 無会派 (4)

各会派所属議員: さくら会 (為田, 橋岡, 井原, 石渡, 松原, 桜井, 山口(議長), 清宮, 押尾, 中村, 桐生, 望月), 公明党 (久野, 小須田, 柏木, 岡村, 森野), 佐倉市民ネットワーク (大野, 伊藤, 五十嵐), 佐倉市民オンブズマン (和田, 上ノ山), みんなの党 (岩井, 村田), 無会派 (民主党高木, 共産党萩原, 新社会党冨塚, 自民党川名部)

「副市長の選任について」 市長が進めている副市長(市民オンブズマン提出)の選任について

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

「原発の再稼働をさせないことを求める」意見書

一般質問の時間制限は不要

今議会の各議員の一般質問は、どこか駆け足のような印象を受けました。これまでは、粘り強く質問していた人も質問回数が減ったように感じました。これは何故でしょうか? 佐倉市では、インターネット中継も行っており、録画放送は45分でカットされてしまうので、議場の変化は実際に傍聴をしなければなかなか気づきません。その原因は、次のようなものでした。2月議会終了後に、さくら会から「一般質問実施状況一覧」が配られました。各議員の質問時間と質問回数、それに対する執行部の答弁時間のH23年度の集計です。この一覧によると、

議員の活動は、できる限り制限を設けず議会を活発な議論の場にするのが、市民の利益につながると思います。

議員の活動は、できる限り制限を設けず議会を活発な議論の場にするのが、市民の利益につながると思います。

市民からの声

近所の小さな公園には何組もの親子が集い、保育園児も沢山来たりします。この公園には水道の蛇口はあるのですが、ひねる所が付け外し式のタイプで、水を出す事が出来ませんでした。佐倉市役所秘書課 hiso@city.sakura.lg.jp 「市民の声」に、水が使えるようにsakura.lg.jp 「市民の声」に、水が使えるように

「空間放射線測定器を貸し出してほしいです。」 下記へ電話等で御連絡ください。



公益財団法人 佐倉緑の基金

「緑の基金」は定款で「この法人は、広く市民の自発的な参加と協力を得て、自然環境の保全を図る」と定めている。「佐倉緑の基金」にはH23年度末で4億2800万円の基金残高がある。この基金には、昭和59、62年にかけて計2億円の税金が佐倉市より出資されている。市の答弁によれば「2億円以外に市からの出資金はない。個人、団体等による寄付はH24年3月末までに、1億4800万円になっている。2億円の出資金等の利息等は約8000万円あり、合計約4億2800万円となる」。

緑の基金は国債で運用したとの事だが、1990年の国債の利率は6〜7%超ということで、年間1400万円ほどの利息になる。基金資産形成に2億円の出資金が大きな役割を果たしてきたことは疑いようもない。蔵市長が財政調整基金を積み増すというのなら、このようなバブル経済期の遺産のような基金の整理縮小も視野に入る時代だ。